

第15期 報告書

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

TOABO

株式会社トーア紡コーポレーション

第15期の業績について



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、当社グループ第15期（平成28年1月1日から平成28年12月31日まで）の事業概要を次のとおりご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和により、緩やかな回復基調が続いているものの、海外におきましては、中国や新興国経済の減速、英国のEU離脱問題等による世界経済の下振れ懸念等から先行き不透明感が高まりました。

こうした状況のもと、当社グループは市場ニーズを先取りする高付加価値・高品質商品を提供する「暮らしと社会の明日を紡ぐ企業」として、競争力の強化と収益性の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は18,950百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は575百万円（前年同期比5.9%減）、経常利益は488百万円（前年同期比2.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は266百万円（前年同期比49.1%減）となりました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益減少の主な要因は、三重県津市の賃貸資産売却に伴う減損損失199百万円計上によるものであります。

なお、当期の配当金につきましては、1株につき20円とさせていただきます。

今後の方針

当社グループでは、5つの事業を中心として、グループ全体のさらなる事業価値の向上を最大の経営課題と位置付け、中期的な経営戦略に基づいて、各事業分野において、以下の取り組みを進めてまいります。

衣料事業

紡績テキスタイル・メーカーとして、原料・原糸からの商品開発を強化するとともに、グローバルな営業活動を行い、東南アジア、欧州、米国への販売を強化し、市場でのシェア拡大に努めます。

インテリア産業資材事業

自動車内装材部門の国内販売は、徹底した生産の効率化と物流の最適化を図り収益の改善を目指します。中国では、生産の安定化を進めるため新規案件の獲得を図ります。また、カーペット部門および不織布部門では、新規商材の開発、新規分野の開拓に努めます。製造部門では生産性向上のための改修と老朽化した設備の更新を実施します。

エレクトロニクス事業

現在取り組み中の新商品の製品化を急ぐことと、既存製品の生産合理化を進めていきます。

ファインケミカル事業

ヘルスケア分野での事業拡大をさらに図るとともに、国内電子材料市場での機能性有機材料の拡販を目指します。

不動産事業

商業施設は投資により資産価値を高め、事務所賃貸については稼働率の向上に努めます。

これらの取り組みとともに、「企業の果たす社会的責任」の一環として、「人」・「暮らし」・「環境」の心地よい調和を求めてまいります。

また、法令遵守や危機管理を一層徹底するため、「トーア紡グループ企業行動憲章」のさらなる定着と実践を推進し、より実効性のある内部統制の整備、運用に取り組んでまいります。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年3月30日

代表取締役社長 長井 渡

100周年に向かうトーア紡グループ

財務ハイライト (連結)



セグメント別の概況

衣料事業

売上高構成比 **42.1%**

衣料事業は、各種繊維を原料とする衣料用素材の製造および販売を行っております。毛糸部門では、カラーストック糸の販売が順調で、昨年並みの利益を確保しましたが、ニット糸はレディース・肌着用、織糸ではメンズ生地に向けた梳毛糸の不振等で減収となりました。ユニフォーム部門では、学校向けは新入学生向けオーダーが順調に推移していることで増収となりました。官公庁向けも順調で、増収となりました。企業向けはユニフォームアパレル向け販売が苦戦し減収となりました。テキスタイル部門では、郊外専門店向けのレディース素材は順調でしたが、メンズ素材は16年春夏物の受注減と海外販売分が円高の影響を受けたため、減収となりました。なお、営業利益におきましては、中国子会社の長期滞留債権に対する貸倒引当金計上等により大幅減益となりました。この結果、衣料事業は、売上高7,979百万円 (前年同期比5.5%減)、営業利益109百万円 (前年同期比38.2%減) となりました。

インテリア産業資材事業

売上高構成比 **34.8%**

インテリア産業資材事業は、自動車用内装材、排水処理資材・土木資材・緑化資材などさまざまな用途の産業用資材、インテリア製品の製造および販売を行っております。ポリプロファイバー部門は、住宅建材用途や車両向け原綿が堅調に推移しました。カーペット部門は、カーマット、アミューズメント関連用途は苦戦しましたが、住宅関連用途、OEM、ホテルリニューアル物件等は堅調に推移し増収となりました。不織布部門は、寝装用途では増収となりました。また、土木資材・緑化資材・防草資材等も概ね順調に推移しました。特殊繊維部門は、金属繊維およびカーボン繊維製品とも堅調に推移しました。自動車内装材部門は、主力の受注車種が安定的に推移したことと新規受注車種の獲得により増収となりました。自動車内装材製造販売の中国子会社は、モデルチェンジ車種の立ち上がりと小型車の減税効果もあり販売増となりましたが、為替の影響により減収となりました。この結果、インテリア産業資材事業は、売上高6,583百万円 (前年同期比2.2%増)、営業利益163百万円 (前年同期比35.1%増) となりました。

エレクトロニクス事業

売上高構成比 **11.3%**

エレクトロニクス事業は、半導体・電子機器の製造および販売を行っており、主力の電動工具モジュールの受注が堅調に推移したことにより、売上高2,145百万円 (前年同期比2.7%増)、営業利益68百万円 (前年同期比79.7%増) となりました。

ファインケミカル事業

売上高構成比 **4.3%**

ファインケミカル事業は、ヘルスケア関連薬品、工業用薬品の製造および販売を行っており、電子材料向けや農業向けが振るわず減収でしたが、収益性の高い受託加工の受注増および原燃料費の低下により、売上高820百万円 (前年同期比8.0%減)、営業利益88百万円 (前年同期比7.8%増) となりました。

不動産事業

売上高構成比 **4.9%**

不動産事業は、事務所賃貸や複合商業施設などの不動産開発・管理を行っており、概ね順調に推移しましたが、当社の主力である郊外での賃貸市場の低迷により、売上高928百万円 (前年同期比4.7%減)、営業利益518百万円 (前年同期比5.0%減) となりました。

その他

売上高構成比 **2.6%**

その他は、自動車学校の運営、新規事業および中国における貿易業務などを行っております。自動車教習事業は入校生の減少により減収となりましたが、新規事業はヘルスケア関連製品の受注が好調で増収となりました。貿易業務を行っている中国子会社の販売は低調で、その他全体の売上高は492百万円 (前年同期比5.6%増)、営業損失16百万円 (前年同期は9百万円の営業損失) となりました。

会社概要 (平成28年12月31日現在)

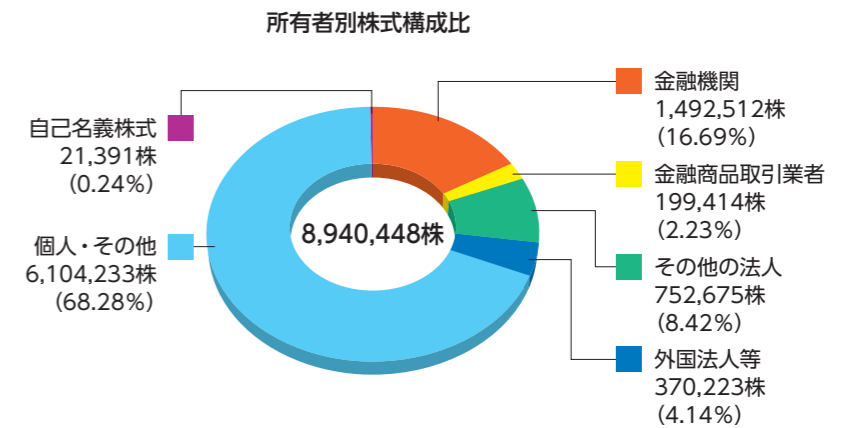
会社名 株式会社トーア紡コーポレーション
 設立年月日 平成15年6月12日 (創業 大正11年2月)
 資本金 3,940,097,500円
 主要な事業内容 半導体、ファインケミカルの製造販売および不動産賃貸、各種繊維製品の製造加工販売を行う子会社の経営管理
 事業所 本社 大阪市中央区城見一丁目2番27号
 クリスタルタワー18階
 東京支店 東京都中央区日本橋小伝馬町14番7号
 アクサ小伝馬町ビル4階
 大阪工場 大阪府泉大津市虫取町一丁目1番12号
 従業員数 60名
 ホームページ URL <http://www.toabo.co.jp/>

役員 (平成28年12月31日現在)

代表取締役社長 長井 渡
 取締役 水森 吉紀
 取締役 齋藤 和幸
 社外取締役 坂下 清信
 社外取締役 丸岡 健二
 常勤監査役 興津 裕文
 社外監査役 高島 志郎
 社外監査役 伊藤 豊久

株式の状況 (平成28年12月31日現在)

発行可能株式総数 14,300,000株
 発行済株式総数 8,940,448株
 当期末株主数 6,922名



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月に開催
 基準日 毎年12月31日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 電話 0120-094-777 (通話料無料)
 インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
 単元株式数 100株
 公告方法 電子公告の方法
 公告掲載URL <http://www.toabo.co.jp/>
 電子公告による公告ができない場合、日本経済新聞に掲載いたします。

手続におけるご注意

- 株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

第15回定時株主総会決議ご通知

拝啓 株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成29年3月30日開催の当社第15回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

報告事項

1. 第15期（平成28年1月1日から平成28年12月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第15期（平成28年1月1日から平成28年12月31日まで）計算書類報告の件
本件は、上記1および2の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、期末配当は普通株式1株につき金20円（総額178,381,140円 効力発生日 平成29年3月31日）と決定いたしました。

第2号議案 取締役5名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、長井渡、坂下清信、丸岡健二の3氏が再選され、新たに西井申明、山田哲の両氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第3号議案 監査役1名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、川崎隆行氏が選任され、就任いたしました。

以 上

取締役・監査役についてのお知らせ

本総会終了後開催された取締役会および監査役会により、次のとおり選定され、それぞれ就任いたしました。当社役員の陣容は、下記のとおりであります。

代表取締役社長	長 井	渡
取 締 役	西 井	申 明
取 締 役	山 田	哲
社 外 取 締 役	坂 下	清 信
社 外 取 締 役	丸 岡	健 二
常 勤 監 査 役	川 崎	隆 行
社 外 監 査 役	高 島	志 郎
社 外 監 査 役	伊 藤	豊 久

株主の皆様には、今後ともなにとぞよろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

期末配当金のお支払いについて

第15期期末配当金を次のとおりお支払いいたしますので、ご案内申し上げます。

1. 銀行口座への振込をご指定の方には、「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を、それぞれ同封いたしましたので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。
2. 振込をご指定されていない方には、「期末配当金領収証」を同封いたしましたので、払渡しの期間（平成29年3月31日から平成29年5月1日まで）内に、お近くのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

以 上